

第2学年 生活科学習指導案

令和7年10月21日(火)5校時

対象 第2学年2組 35名

大田区立矢口西小学校

1 単元名

「もっと 知りたい たんけんたい」(全11時間)

2 単元の目標

学区内で生活したり働いたりしている人々と関わる活動を通して、地域と自分たちの生活との関わりを見付け、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が抱く思いに気付く。そして、地域や人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に接したりしようとするができるようにする。

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	町で働いている人や住んでいる人の町への思いや、自分たちの生活との関わりに気付くとともに、自分の町のよさに気付いている。	町の様々な場所や人と適切に関わることや、安全に生活することについて考えたり、町探検で気付いたことや教えてもらったこと、体験したことについて、自分らしい方法で表現したりしている。	自分が生活している町に関心をもち、町の人々や様々な場所に親しみをもって関わったり、友達と協力して町の人との交流を深めたりしようとしている。
学習活動における評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ① 自分が住んでいる町には、さまざまな生活をしたり、働いたりしている人がいることに気付いている。 ② 町探検に必要な物や約束(ルールやマナー、言葉遣い、安全面)に気を付けている。 ③ 町で生活したり働いたりしている人が、自分たちの生活を支えていることに気付いている。 ④ 愛着のある場所が増え、人と上手に接することができるようになった自分に気付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 行きたい場所や会ってみたい人や、やってみたいことを思い描きながら、計画を立てたり、約束を決めたりしている。 ② 相手や場、状況に応じた適切な行動を意識しながら、インタビューをしている。 ③ 自分が住んでいる町にはどんな人がいるのかを想起し、友達と交流している。 ④ 町で働いている人や住んでいる人と自分たちの生活との関わりを振り返りながら、交流している。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域の場所や人々に関心をもって、友達に紹介しようとしている。 ② グループの友達の意見と自分の意見を調整しながら、楽しく安全で礼儀正しい町探検が行えるようにすすんで準備しようとしている。 ③ マナーやルールを守って、すすんでインタビューしようとしている。 ④ 自分が関わったことがある人や知っている人について話し合い、町探検を楽しみにしている。 ⑤ すすんで分かったことを伝えたり、発表を聞いたりしようとしている。

4 児童の実態とアンケートについて

2年生になって友達との関わりも増える中で、放課後に公園で待ち合わせをして遊ぶ姿が見られるようになった。児童は家庭や学校を中心とした生活から、公園や友達の家など生活の場を地域へと広げていく。そこで、地域に出て、さまざまな場所や人との出会いを作り、地域との関わりを広げたり深めたりして、地域に愛着をもたせたいと考えている。

1学期の生活科の町探検では、初めて訪れる場所もあり、「この町のことがよく知れてよかった。」「また、〇〇へ行きたい。」と振り返っている児童がいる一方で、「知らないことも多かった。」「もっと知りたい。」と答える児童も多くいた。自分が住んでいる地区以外は、町への愛着とまでは深まっていないようだった。

実態アンケート 対象児童:2年生 (102名回答)

【自分のまちについて】

Q1. 自分の住んでいる町は好きですか？

- はい …92名 (おいしいお店がある、地域限定のお店がある)
 いいえ … 4名 (遊び場が少ない、交通量が多い)
 どちらでもない… 6名

Q2. 自分の住んでいる町で知りたいことはありますか？

- はい …72名 (大きな町になった理由を知りたい、通学路以外にも歩いてみたい)
 いいえ …20名 (知り尽くしている、考えたことがない)
 どちらでもない… 10名

Q3. 自分の住んでいる町で友達に知らせたいこと(場所)はありますか？

- はい …48名 (友達に町のお店のことを知らせたい、おいしいお店を知らせたい)
 いいえ … 42名 どちらでもない… 12名

Q4. 自分の住んでいる町に住み続けたいと思いますか。

- はい …89名 (自分の町が好きだから、もっと知りたいことがあるから)
 いいえ … 12名 (他の町も知りたい、自分の町とどこが違うのか知りたい)
 どちらでもない… 1名

【交流活動について】

Q5. 自分の意見を言うことは、好きですか。

- はい…52名 いいえ… 34名 どちらでもない… 16名

Q6. 友達と話し合ったり、発表し合ったりすることは好きですか。

- はい…51名 いいえ… 24名 どちらでもない… 24名

Q7. 話し合い活動(交流活動)の中で、自分の知らないことを知ることは好きですか。

- はい…70名 いいえ… 12名 どちらでもない… 20名

Q8. わからないことは、すすんで聞くようにしていますか。

- はい…72名 いいえ… 16名 どちらでもない… 18名

【分析】

上記アンケート結果から、「自分の町は好き」「自分の住んでいる町で知りたいことがある」と答える児童が、全体の大半を占めていることが分かる。自分の町への愛着度や関心は高い結果となった。

その一方で、交流活動では、自分の考えを表現することが苦手な児童がいる。児童の興味がある探求的な地域学習を通して、交流活動を活性化させ、自分の考えをすすんで表現する動機付けになるような場を設定していく。そして、「もっと町のことが好きになった」と感じることをできる児童を増やしていきたい。

5 単元について

【小学校学習指導要領 第5節生活 第2内容・小学校学習指導要領解説 生活編】

内容(3)地域と生活 (4)公共物と公共施設の利用 (8)生活や出来事の伝え合い より

- (3) 地域に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えることができ、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとする。
- (4) 公共物や公共施設を利用する活動を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりすることができ、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれらを支えている人々がいることなどが分かるとともに、それらを大切に、安全に気を付けて正しく利用しようとする。
- (8) 自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりすることができ身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かるとともに、進んで触れ合い交流しようとする。

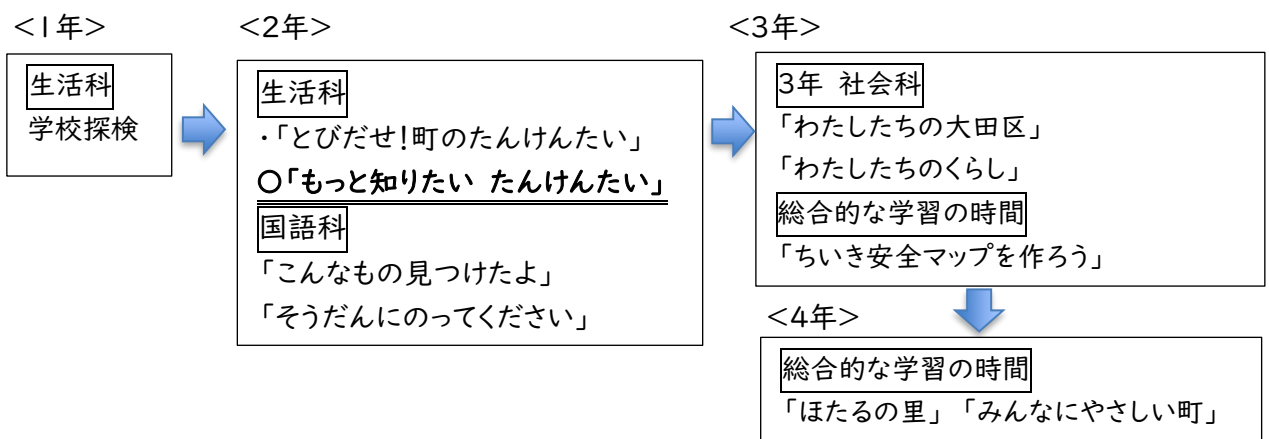
(1) 単元設定の理由

本単元は、生活科の内容(3)「地域と生活」の内容を中心に行う。学校や家庭から地域へと目を向けさせ、実際に出掛けて、地域の人や町に暮らす人々にどのような思いをもって生活に関わっているのかということに気付かせたい。また、地域には自分たちの生活を支えてくれている人がいることに気づき、自分たちの生活は地域の中で成り立っていることを理解し、自分たちの住んでいる地域に愛着をもつようになって欲しいと考えている。

また、町探検をする中で、公共の場所でのルールやマナーを守ること、学習を通して出会った人々への挨拶や適切な言葉遣い、安全への意識を高めることも指導していきたい。

本単元を通して、地域の場所やそこで働いたりしている人々について考えを深めることで、地域に親しみや愛着をもち、自分自身が地域の中での生活をより楽しく豊かなものにしていこうとする児童を育てていきたい。

(2) 系統性・他教科との関連



<「おおたの未来づくり」との関連>

- ・町探検を通して、商業施設や公共施設に興味をもち、より一層の地域に親しみや愛着に気付く。そして、社会の一員として様々な人との関わりを大切に生活しようとする態度を養う。
- ・児童の興味がある題材の中での交流活動を通して、新しく目にしたものや聞いたことを他者と話題にする機会が増え、より一層の「もっと知りたい、見つけたい」という探求へのきっかけを広げていく。

6 研究主題と単元目標に迫るための手立て

研究主題: 主体的・対話的に活動する中で 豊かに表現できる児童の育成

低学年 目指す児童像

- ① 身の回りの事象から気付いたことを相手に伝える子。
- ② 話し合いや振り返りの活動からさらに興味を高めたり一層の愛着をもったりして活動に取り組む子。

低学年 目指す児童像に迫る手立て

- ① 相手に伝えたいという意欲を向上させる体験活動を選定する。
- ② 子供たちの気付きを簡単な言葉で価値付けする。

単元の目標に迫るための手立て

- (1) 地域への興味・関心をもったり、気付いたりする。
 - ・町探検のインタビューを通して、児童が発見した「すてき」を付箋に張り、「ひと」「こと」「もの」に分けることで、視点を絞り、交流活動が活発化するようにする。
- (2) 地域により愛着をもつための場面を設定する。
 - ・前単元「とびだせ!町のたんけんたい」の町探検や、本単元の第6.7時の施設へのインタビューなど、実際に町の人たちと触れ合う機会を設定し、より一層の愛着をもてるようにする。
- (3) 教科を関連させて学びを深める指導。
 - ・国語「そうだんにのってください」の学習内容を交流活動の中で生かすことができるようにする。
 - ・身近な地域の人を想起しやすいように、地域マップを活用する。また、実際に話を聞くことで、町探検に行ってみたいという意欲付けを図る。

7 指導計画

「もっと 知りたい たんけんたい」(11時間扱い)

時	指導のねらい	□支援 ◇手立て ■教科関連 評価(評価方法)
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">どんな町にすんでいるかを ふりかえる</div> ・1学期 町探検に出かけた2つの町の様子を 絵地図や写真を見ながら今までの活動を 振り返る。	□自分たちが住んでいる地域は2つの町があることを引き出す。 ◇前回の町探検の写真やマップを基にして振り返る。 主①(発言・対話・態度)
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">町にはどんな人がいるか 知りたい</div> ・前回の探検を振り返ったり、日常生活の地域での経験を思い出したり、町にはどんな人がいるか話し合ったりする。 ・会いたい人、話をしたい人、聞きたいことなどを話し合う。	□前回作った町探検のマップを掲示して、想起しやすくする。 □具体的な場所や人を思い出せるよう声掛けをし、気になっていることを引き出す。 ◇人に焦点を当てて深く関わられるような声掛けをする。 ◇教科書を参考にしてもよい。 思③(発言・対話・態度) 主④(発言・態度)

3	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">町たんけんの計画を 立てよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会いたい人や行きたい場所ごとにグループを作る。 ・グループごとに町探検の計画を立てる。 ・役割分担を決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇前回の探検を思い出せるよう振り返りながら活動できるようにする。 ◇町探検の活動が楽しみになるようにする。 ◇事前にお店の方との打ち合わせを行う。 ◇6つのグループに分け、どんな種類かを考えられるよう環境を整える。 <p>知①(発言・対話・カード) 思①(発言・対話・態度・カード) 主④(発言・対話・カード)</p>
4 . 5	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">聞きたいことを 考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューの内容を考える。 ・町の人にインタビューできるように練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇国語「そうだんにのってください」の学習を活用できるようにする。 □付箋を用いて友達の質問がお互いに伝わりやすいように分類する。 □言葉遣いや話す速さなどについて、友達と互いにアドバイスしながら練習するよう促す。 <p>■国語「そうだんにのってください」 知②(発言・対話) 主②(発言・態度)</p>
6 . 7	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">町の人にインタビューしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに町探検に出かける。 ・町の人に会いに行き、インタビューをする。 ・インタビューのふりかえりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> □質問するときのマナーについて伝える。 □安全に探検できるように助言する。 □インタビューで聞いたことをもとに、更に新たな質問をしてもよいことを伝える。 <p>主③(発言・態度) 知③(発言・対話) 思②(発言・対話)</p>
8 本 時	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">町のことを まとめよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発見したことを付箋に書く。 ・発見したことを整理し、伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> □町のよさに気付くことができるような場の設定をする。 <p>思④(発言・対話・態度・カード) 知④(発言・対話)</p>
9	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">町のすてきを 知らせたい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町探検で気付いたことを写真や絵、文章で書き、町の地図に貼り足していく。 ・共通の質問について発表し、地域の方の思いを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇町探検で見つけた「すてき」な気付きや教えてもらったことなどをまとめるように助言する。 ◇次の単元の「町のすてきをつたえたい」への接続を意識してすすめる。 <p>思④(発言・対話・態度・カード) 主⑤(発言・態度)</p>
10 . 11	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">町のすてきを 話したい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見つけた「町のすてき」を伝え合う。 ・今までの活動を振り返り、次の活動への意欲をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇子どもの言葉を簡単な言葉にして価値付け、地域への愛着をより深めることができるようにする。 □探検の成果の共有化を図り、互いに認め合えるようにする。 <p>主⑤(発言・態度) 知④(態度・カード)</p>

8 本時の指導 (8/11)

本時の目標 インタビューを振り返る交流活動を通して、自分たちの町には、すてきな人や場所がたくさんあること、町への親しみや愛着が増えていることに気付くことができるようにする。

	○学習活動・思いや願い、気付き	□指導上の留意点 ◇手だて 評価
導入 5分	○前時を振り返り、今日やりたいことを確認する。 ・町探検で見つけた「すてき」をまとめたい。 ・町の「すてき」を話したい。	◇前時のインタビューを想起させる。
展開 30分	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">町のことを まとめよう</div>	◇タブレットで撮影した写真を掲示する。 □施設の「ひと」、「もの」、「こと」について分類できるようにする。 □インタビューのまとめ方を思い出しながら、考えを整理しやすくする。 思 ④(発言・対話・態度・カード) 町で働いている人や住んでいる人と自分たちの生活との関わりを振り返りながら、交流している。
振り返り 10分	○本時の振り返りをする。 ・他のグループの発表も聞きたいな。 ○次にやりたいことを決める。 ・もっとこの町の「すてき」を伝えたいな。 ・ほかのグループの発表をもっと聞きたいな。	□活動を振り返ることを通して、気付いたことを再認識したり、自分自身の生活や次の活動の意欲へとつなげたりすることができるようにする。 □児童の言葉を価値付け、地域への愛着の意識化を図るようにする。 知 ④(発言・対話) 自分たちの町には、すてきな人や場所がたくさんあること、町への親しみや愛着が増えていることに気付いている。

9 板書計画

町のことを まとめよう

・すてきをあつめて話そう 「ひと」「こと」「もの」

ふりかえり

- ・つぎにやりたいこと
- ・つたえたいこと・聞きたいこと